

令和7年9月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	令和7年9月10日(水) 午前9時00分～
場 所	青葉区役所4階会議室及びWeb会議
出席者	<p>【議長】 藤崎浩太郎議員</p> <p>【議員：10名】 田中ゆき議員、山下正人議員、伊藤くみこ議員、横山正人議員、行田朝仁議員、おさかべさやか議員、赤野たかし議員、内田みほこ議員、小島健一議員、青木マキ議員</p> <p>【説明局員：27名】(青葉区：21名)</p> <p>中島区長、真船副区長、青木福祉保健センター長、綱河土木事務所長、宇多消防署長、今井福祉保健センター担当部長、宮崎総務課長、ほか関係職員</p>
次 第	<p>報告事項</p> <p>1 青葉台駅周辺地区のまちづくりについて (都市整備局市街地整備推進課 資料1)</p> <p>2 令和7年度区民意識調査の結果について(速報) (区政推進課 資料2)</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青葉警察署管内の情勢について (青葉警察署 資料3)</li> <li>青葉区火災・救急状況(令和7年8月31日現在) (青葉消防署 資料4)</li> </ul>
報告事項1	青葉台駅周辺地区のまちづくりについて
発言の要旨	<p>資料1に基づき、都市整備局市街地整備推進課から報告</p> <p>横山議員 この地権者は東急とURの2者であるか?</p> <p>甲斐都市整備局市街地整備推進担当課長 1枚目の、左側の図面ですが、点線で囲まれているエリアについては、駅前広場は横浜市の道路施設であるが、それを除いたエリアについてはおおむね東急、それから青葉台プラーザビルの賃貸住宅についてはURが所有し管理している。</p> <p>横山議員 以前、田園青葉台住宅建て替えのときに、地権者が多くて、なかなかまとまらずに、結果として今の状態になっているが、今回の場合は地権者が限られているのでスムーズにいくことを期待したいと思う。この青葉台の駅は非常にポテンシャルの高いところで、今の現況は老朽化しているし、非常にもったいない。本来であればもっといい駅周辺の街環境ができるということであるけれども、今の状況があるということなので、早く進めていただきたいと思うが、これを進めるにあたって住んで</p>



<p>甲斐都市整備 局市街地整備 推進担当課長</p>	<p>できることはしっかりと対応していきたいと考えている。</p>
<p>田中議員</p>	<p>私からは初めのご説明で、青葉台駅周辺というところで、地図で示された以外に全体の声を聴いていくというお話だった。昨日行われた地元の会合では懇談会が行われる10月14日のところで、エリアの考え方などを考えていくということだけでも、初めにご説明いただいた全体ということと、次の懇談会で自治会町内会さんや商店会さんでエリアを決めていくということはどういうことなのか、市が考えている全体とその話の内容によって変わってくるのか、どういうくくりでご説明いただいたのか教えていただきたい。</p>
<p>甲斐都市整備 局市街地整備 推進担当課長</p>	<p>エリアの考え方については、本日も説明した範疇を逸脱するものではない。ただ、地域の方からいろいろご意見が出ると思っている。昨日も商店会はどうなる？という話で、どこまで考えているのかみたいなご意見があったので、少し意見交換させていただき、今お示ししている図面というのは駅周辺をぼんやりと描いているだけではあるけれども、どこまでどういう形で入れ込むのかというのは、懇談会の意見や、その後のアンケートの実施の中で、そういったものを踏まえてまちづくり構想のエリアでお示していきたいと考えている。</p>
<p>田中議員</p>	<p>バスの話もすごくあると思うけれども、そのバス便の方たちに対してはアンケート調査という形でご意見を聴いていくという考え方か。</p>
<p>甲斐都市整備 局市街地整備 推進担当課長</p>	<p>基本的な手法や、エリアみたいな対象とするところについては、懇談会の中で委員さんのご意見や、交通の専門家とどうあるべきなのか、そういったご意見を踏まえ、内容もエリアについても検討していきたいと考えている。</p>
<p>田中議員</p>	<p>今後、頂いたご意見はウェブサイト等での公表を想定しているということだが、今回、1月の協定締結以来、なかなか地域の皆さんに情報発信が少なく、青葉台周辺の方々からご不安の声が聞こえている。今後、ウェブサイト等というのは、ほかに何か手段を考えているのか。</p>
<p>甲斐都市整備 局市街地整備 推進担当課長</p>	<p>情報の発信に関しても、1回目の懇談会などでご相談しながら考えていきたいと思う。我々事務局としましては、ホームページはもちろんやっつけようと思っているけれども、ほかのどんな手段が一番市民の方々</p>

	<p>にご安心いただけるような情報の発信なのかというところは、ご意見を踏まえ、また、専門家のご意見を頂きながらやっていきたいと思う。</p> <p>ニーズみたいなものもあるし、いろいろあると思う。できるだけご要望に合うように、個人情報的なものは出さないでほしいという点に関してそういったご意見もあるかもしれないし、逆にもっとこういうものを出してくれみたいな話があれば、できるだけそういった案件に対応しながら検討していきたいと考えている。</p>
田中議員	<p>ぜひ、地域の皆さんが随分誤解されている方もいらっしゃるので、対応をお願いしたい。</p> <p>先ほど横山議員が空き店舗の利用について質疑した際に、現段階ではお答えが難しい感じだったが、あの前の通りのところでマルシェみたいな、少しにぎわいというか、地域の皆さんにこの場所というのは再整備が入ってみたいなものをお示しできるようににぎわいづくりみたいなものはできないのか。不可能なのか可能なのか、今後、検討できるのか教えていただきたい。</p>
甲斐都市整備局市街地整備推進担当課長	<p>先生のご意見も参考にしながら、懇談会でしっかり議論しまして、何ができるのか、何をすると効果的なのかといったところをしっかりと議論した上で、そういったアイデアも含めて検討していきたいと考えている。</p>
田中議員	<p>先日、商店会の皆さんが東急スクエアの1階をようやく借りることができてマルシェが開催できたことがあった。そんなに大きく負担することなくできたという事例があったので、ぜひああいうところを活用すれば、もう少し多くの商店会の皆さんとか、地元の商店の皆さんも参加できて一緒にまちづくりをしていこうという気持ちになると思うので、ぜひご検討をお願いしたい。</p>
伊藤議員	<p>こちらの中心になってくださる方がUR、青葉台のメンバーということで、自治会や商店会の方というのは、割と地元にしっかり関わっている方なので、非常にそういう方がメンバーになってくださるということは大変良いことだと思う反面、やはり若い方とかそういう方のご意見というのをなかなか取り入れるのは難しいのかなというところがある。アンケートとかヒアリングということは、今、具体的なことが決まっていないということであるが、ある程度、どの程度の範囲で、例えば限られたエリアで、藤が丘駅を利用している方にしてみれば、自分たちもその住民なのだという意識だけでも、いろんな会議が開かれていること</p>

	<p>を知らないとか、そういうお話もあったので、そういう意味で、青葉台に関してもどの程度の範囲でヒアリングなどをどういう形で実施していくのか、今構想はされているのか。</p>
<p>甲斐都市整備局市街地整備推進担当課長</p>	<p>いろいろアイデアは出し合っているところだけれども、懇談会の皆様のご意見を頂き、また、学識経験者の先生方のご意見などを踏まえて考える。ただ、この青葉台の駅から直通で日体大や、桐蔭学園や、横浜美大や、高校もあるのでそういった方々をどう巻き込むのかみたいところは非常に重要だと思っており、事務局としてはそういったところからご意見として頂けるように手法などについてもしっかりと検討していきたいと考えている。</p>
<p>伊藤議員</p>	<p>やはり多くの世代や広いエリア、青葉台駅利用者も含めて考えて実行いただければと思う。</p> <p>それともう一点お願いなのだけれども、前に私のほうからもお願いしていたのだが、シャッター街になってしまっているところで、そこでにぎわいをつくるということも一つの大切なことなのだが、やはり夜の防犯上の問題が、店舗があるけど閉まっているというのと全く何も入っていないで閉まっているというのは違うと思うので、その検討もしっかりしていただきたいと思う。</p>
<p>赤野議員</p>	<p>これから様々な方のご意見を伺うことになると思うが、今の青葉台を降りても一般車両の駅のところや、いろんな苦肉の策でURの裏側とか、いろんなところに時間を設けてやっていただいていることは存じ上げている。けれども、やはり階段が多かったりして、街ももちろんまちづくりに関してはかつていろいろ時間がたっていますけれども、住民の方も高齢化しているわけで、今考えると、何であんな高層でつくってしまったのかということも言える。そういったことも含めて住んでいらっしゃる方とかそういったご意見があると思う。よくよくそういったことを、同じ間違いを繰り返さない意味でもしっかりと現状を把握していただいて、バス便の往復を何とかしているけれども、これから運転士不足でバス便の変更も想定されるし、朝のラッシュ時の、少しの時間だけれども、学生が駅のホームにずらっと並ばれている、ああいった現状もある。現状の問題点をよくよく熟知していただいた上で、今の段階でも改善できることがあるので、ぜひこれからのことも考えるのもよし、今現状の問題点を把握して少しでも改善できることは改善していただくのもよし、そういった視点で進めていただきたいと思うが、いかがか。</p>

<p>甲斐都市整備局市街地整備推進担当課長</p>	<p>ご意見頂きましてありがとうございます。今回、アンケートや、懇談会の意見も頂くので、そういった中でできること、例えば商店が閉まっているけれども、そこの活用や防犯なども、やれることに関しては3者でよく議論して実施できたらと思っている。なかなか全てができるということではないけれども、私ども横浜市、東急、URが青葉台周辺のまちづくりを真剣に考えている、そこをしっかりと見せたいと考えているので、できることに関しては対応していきたいと考えている。また、現状をよく把握し意見を頂きながら、地域の方にご協力いただくこともあると思う。そこはしっかりと意見交換しながら、しっかりとしたまちづくりというのを皆さんと一緒に実現していきたいと考えている。</p>
<p>赤野議員</p>	<p>ありがとうございます。今できることはすぐやっていただくことによって、将来のことについても皆さん住民の方が協力的になっていただくということである。しっかりとお願いしたい。</p>
<p>山下議員</p>	<p>この再整備の後なのだけれども、ここの容積というのは、現状と同じぐらいの規模の建物になるという考えでよろしいか。</p>
<p>甲斐都市整備局市街地整備推進担当課長</p>	<p>再整備に関しては、地権者である東急とURが検討を進めているところである。規模をどうするのか、いろいろあるが、それもこれから意見交換と並行しながら検討を進めていく。</p>
<p>山下議員</p>	<p>現状は、いっぱい、いっぱいの容積か。</p>
<p>甲斐都市整備局市街地整備推進担当課長</p>	<p>現状ではまだ余裕はある。</p>
<p>山下議員</p>	<p>そうすると、恐らく横浜市がこれからの中期計画の中でダブルコアという言い方をしてきた。我々青葉区からするとみなとみらい方面の地域に投資され、北部地域とか税金払う地域になっちゃって、せっかくここを変えるのであれば、今後、公共施設などをここに導入していくのはどうかと思う。せっかくこれだけのポテンシャルが良い場所なので、それなりの投資をして、東急と協力していただいた上でだけれども、やはり街の核になるものを作っていないともったいないと思う。そこで都市マスなんかの改定もこれから検討する中で、それも視野に入れてこのところを将来どうするかとって都市マスなんかの考え方が変わってくる、その考えでよろしいか。</p>

	<p>甲斐都市整備局市街地整備推進担当課長 まちの核になるよう公共施設を含めて、しっかり検討していきたいと思う。都市マスの改定も控えているので、その辺もしっかり検討できるように、双方しっかり齟齬の無いように連携していきたいと考えている。</p> <p>行田議員 私からは、今、シャッターといいますかね、真っ暗になってしまっているバス停のあそこを明るくするとおっしゃった意見もある。一方、1-3の赤の点線が入った航空写真ですね。この枠の中というのは3者でやっていくのだけれども、この中の内容というのはもちろん横浜市の部分だが、他にも東急やURもやっていくと思う。そこで確認したいのは、周辺の道路について、この再開発というかこれをやっていく中で横浜市がどこまで関わるのか、道路の手前までなのか。手前というか敷地の中に関わっていただけなのか。実際、先ほどもちらっとお話があったけれども、周辺道路の在り方というのは、恐らく我々にとって、この議論にとって一番大事な話なのかなと個人的には思う。当局がどういふふうに関わっていくのかというのは決まっていないのかもしれない。今何ができるのかというか、やるとしたらどこまでできる、できないのか、という点に関して、関わり方を確認しておきたい。</p> <p>甲斐都市整備局市街地整備推進担当課長 道路も含めて駅前広場を、どこまでやるのかといったところは、これからの調整になっていく。その際には、やはり地域のご意見をお聴きしてどういったまちづくりを行っていくのかということ踏まえつつ、また一方で実現可能性という視点もある。東急、URとの調整や資金的なものや、スケジュール的なものもあるので、そういうものをよく調整して、その結果としてどのように入れるか入れないかというところは検討していくことになる。</p> <p>行田議員 この赤の点線は当然いろいろな整備になるだろうなと思うけれども、地域住民の多くはこの点線もっと長い方がじゃないかと考えているのではと推測する。真ん中の左側に伸びているところ、戸建ての方はお分かりかと思うけれども、道路が関わるといったときには、やはり青葉台で再整備となると考えてもらいたい。今日もいらっしゃっているかもしれないが、警察の方の力をお借りしながら、安全な街を今後一緒に、せっかくの検討なのでやっていただければなというふうに要望したいと思う。いかがか。</p>
--	---

	<p>甲斐都市整備局市街地整備推進担当課長      しっかり関係機関と調整していく。できることできないことはちゃんとしっかりお伝えし、ソフト・ハード両面から何ができるのかというのをしっかり検討していきたいと考えている。</p> <p>横山議員                      本日、次期中期の考え方が発表になるけれども、その中で、いわゆる市中心部エリア、例えば関内とかみなとみらいだとかを中心とした市中心部、これは新横浜の副都心も入っている。それと郊外部のエリア、この2拠点を考えていくとこういうことが今日発表される。郊外部については一番大きなトピックとすれば、花博の跡地の上瀬谷のこと。そのほかの既存の拠点、例えばこの青葉台もちろんそうだし、たまプラーザだとか、ほかの郊外部の拠点、これを考えるのだけれども、この青葉台周辺というのは、郊外部についてのどういうポジションを取るのか。考え方について教えてほしい。</p> <p>甲斐都市整備局市街地整備推進担当課長      なかなか難しいご質問であるが、郊外部の中でもこの青葉台周辺というのは非常に重要な場所であると私どもも認識している。道路や、鉄道はちょっと厳しいかもしれないけれども、街の整備で上瀬谷が中心になるというお言葉があったが、それにつながる非常に重要な場所だと考えているのでそれに関してはしっかり力を入れてまちづくりを進めていきたいと考えている。</p> <p>横山議員                      つまり、次期中期の郊外部の中でもこの青葉台は中心的な拠点となるということか。中心というか、幾つかある中の拠点であることは確かだと。こういう認識で良いのか。</p> <p>甲斐都市整備局市街地整備推進担当課長      次期中期の位置付けをここで私のほうからご説明はなかなか厳しいのだが、都市整備局として、また、私ども市街地整備推進課としましては、市の都市整備の中心・拠点なので、しっかり力を入れて進めたいと思う。</p> <p>横山議員                      次期中期というのは市としての次の一定期間の目標であることは確かだから、そこに定められた上でこの開発を進めていただきたい。</p>
報告事項 2	令和7年度区民意識調査の結果について（速報）
発言の要旨	資料2に基づき、区政推進課から報告

	<p>おさかべ議員      今回は一部の発表ということで、正式な報告は来年になるかと思うのだが、分かる範囲で教えてください。今まで経年で取られている質問があると思う。それらの質問は、今後も取られていくということなので傾向とかを見ていらっしゃるのかなと思うのだけれども、こういった傾向が見られているのか、分かる範囲で教えていただきたい。あと、今回新たな質問をいくつか取られていると思うけれども、そういった質問を加えた意義と、新たな質問に関してその調査をこういった対策につなげていくのか、そこはこういった行動に移していくのか、そのあたりが分かれば教えてほしい。</p> <p>岩田区政推進課長      おっしゃるとおり今まだ単純集計の段階ということで、今後、最終的な2月の報告の段階で比較・検討についてもご報告差し上げたいと思っているけれども、先のご質問と混ざるかもしれないが、経年での変化ということでどのくらいの取組の状況、地域の方が例えば脱炭素に取り組むというような項目もあったので、どのくらい皆様の中に浸透しているのか数値を今見ているという状況である。また、新しい質問でございますけれども、今回、防災を幾つか、また、防犯の新しい質問を加えている。やはり現状、地域の方がご不安に思っていること、様々なことをこの中で伺いながら施策にできればつなげていきたいという意味も含めて追加している。</p> <p>おさかべ議員      今後どのような施策につながるのか、また、決まってきたら教えてほしい。</p> <p>田中議員      この調査方法のところで郵送またはインターネット回答によるアンケート方式だったということだが、無作為抽出の5,000人のうち、全員に郵送かインターネットで調査をかけたのか、それとも、無作為に郵送にしたのかインターネットにしたのか、そのやり方について教えてほしい。</p> <p>岩田区政推進課長      基本的には全て郵送でお送りさせていただいてお答えの際に調査票を郵送でお答えいただくか、インターネットをお選びいただくか、そういう形にしている。</p> <p>田中議員      回収率のところ、有効回答数の中で郵送でのご回答とインターネットのご回答、どちらが多かったのか教えてほしい。</p>
--	---

岩田区政推進課長	<p>基本的には郵送のほうが多いという状態になっている。ただ、僅差になってきているという状況はある。</p>
田中議員	<p>若い世代の回答の状況があまりよくないということで、それこそ郵送で何かお送りするときに、若い方が二次元バーコードなんかで読み込んで回答したいと思うような何か工夫とかをしていただいたらもうちょっと回答いただけるのかなと思う。ぜひそこをよろしくお願いします。</p>
横山議員	<p>これから集計のとりまとめをしていくということなので、とりまとめしていく上で注目してもらいたい点について申し上げたい。家賃や住宅の価格が悪い、どちらかという悪いと感じていらっしゃる方が約4割いるにもかかわらず、住み続けたい、どちらかという住み続けたいというのが8割いる。ちょっと矛盾している話なんじゃないかと思う。前にもちょっと申し上げたかと思うけれども、住みたい、住み続けたいという考え方、あるいは住み続けたくないという考え方の中で、今回、どちらとも言えないというのが15%入っている。これ、私が感じるには、例えば家を買ってしまったとか、マンションを買ってしまったので、住み続けざるを得ないという状況の人たちもいるのではないかと思う。そこが例えば住宅価格や、若干不満はあるけれども、全体的な家計を考えれば、ここに住むのが最適解だというふうに判断している方もいらっしゃると思う。そういう方というのは、若干の不安、不満を持ちながらここに住んでいるということだから、それを改善していく努力が今後必要になってくるのではないかと思う。なので、そういう視点で今後見ていただきたいと思う。</p> <p>それとあともう一点は、図書館や図書サービスについて、約3割の方が不満を持っているけれども、ただ、これは考えてみると、中学校区に地区センターがあって、横浜市の場合は地区センターで図書の取次サービスを青葉区はやっているし、図書コーナーもあるということを考えて、図書に触れる環境というのは、僕はあるのではないかというふうに思っている。だから、この不満に思っている方がどの程度、区内に図書環境があるのかを理解した上で答えているのかどうかというのが私は興味のあるところ。理解をしている上で、理解をしているけれども、もっと触れるような機会を設けてもらいたいと思っているのか、それとも、なるほどこういうふうな使い方があるのかというふうに思っているのか、ちょっと大きな違いだと思う。なので、そこも視点を持って取り組んでもらいたい。</p>

	<p>岩田区政推進課長 集計の中でどのぐらいまであぶり出せるか分からないが、先生のご意見を踏まえながら集計作業を進めたい。</p> <p>横山議員 設問によっても答え方が違ってくると思うので、もし必要があれば、次の意識調査のときにはそういった設問項目を増やしてもらおうとか、そういう考え方でぜひやっていただきたいと思う。</p>
<p>その他1 青葉警察署管内の情勢について</p>	
<p>発言の要旨</p>	<p>資料3に基づき、青葉警察署から報告</p>
<p>その他2 青葉区火災・救急状況（令和7年8月31日現在）</p>	
<p>発言の要旨</p>	<p>資料4に基づき、青葉消防署から報告</p>